

令和2年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門				
政策No.	3	世界に開かれた先駆的で活力あるまちの基盤を整備する		
所管部	街づくり支援部	関係部	各地区総合支所	
2 政策がめざす方向性				
道路、歩道、橋りょう等の整備や電線類地中化を推進し、安全で快適な歩行空間や円滑な交通の確保、緑のネットワークや良好な景観の形成、防災機能の向上を図ります。区民等の憩いや交流を生み、緑化や防災の拠点となる公園、児童遊園等の公共施設の整備を推進します。道路、公園等の公共施設の整備と市街地再開発事業等の諸制度を活用し、誰もが安全で快適に利用でき、多くの外国人が住み、大使館や国際的な企業が集積する港区の地域特性に配慮した世界に開かれた先駆的で活力あるまちの基盤を整備します。				
3 施策の取組状況（詳細別紙施策評価シート）				
評価区分 A（達成）、B（概ね達成）、C（達成が不十分）				
①	施策名	安全で安心に移動できる道路の整備	評価	A
	成果目標	誰もが安全で快適に利用できる道路が整備されている		
②	施策名	都心機能を支え人にやさしい公園の整備	評価	A
	成果目標	誰もが安全で快適に利用できる公園が整備されている		
③	施策名	安全で快適に利用できる公共施設の整備	評価	A
	成果目標	誰もが安全で快適に利用できるトイレ等の基盤整備が図られている		
④	施策名	市街地再開発事業等諸制度の活用と支援	評価	A
	成果目標	市街地再開発事業や土地区画整理事業により、住環境や防災機能が向上したまちづくりが推進されている		
⑤	施策名		評価	
	成果目標			
⑥	施策名		評価	
	成果目標			
4 予算額・決算額・執行率（単位：千円）				
年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	
予算額	7,650,151	10,418,099	10,920,258	
流用・補正	△ 1,541,957	△ 1,355,390	—	
決算額	5,683,425	8,608,015	—	
執行率	93.0%	95.0%	—	
予算・決算額の推移	・都市計画道路や都市計画公園の整備に向けた用地取得費の増加などにより、令和元年度は予算額が増加しました。 ・令和2年度は、令和元年度とほぼ同じ予算規模になっています。			

5 政策を取り巻く社会経済状況等			
計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況 ・人口動向（年少人口、生産年齢人口、老年人口） ・財政状況など	・東京2020大会を契機に区内では、品川や虎ノ門地区等において大型の開発事業が実施されており、令和2年3月には品川駅北口エリアにおいて、JR田町駅と品川駅との間に山手線では49年振りとなる新駅（高輪ゲートウェイ駅）が開業し、大規模なまちづくりが進められています。 また、虎ノ門エリアにおいては、日比谷線の新駅として虎ノ門ヒルズ駅が令和2年6月に開業するなど、区内のまちづくりは、着実に進められています。 ・道路等のインフラ整備においては、電線類地中化や自転車走行空間などの整備を推進していますが、近年の建設工事の増大に伴う建設業界の人手不足等の影響などから公共工事の契約不調が発生しています。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、公園や児童遊園において、子どもたちが安全で安心して利用できる環境の取り組みが求められています。		
	区民ニーズ等 ※区民アンケートや調査、区民から寄せられた意見等	・みなとタウンフォーラムでは、新駅（高輪ゲートウェイ駅や虎ノ門ヒルズ駅）をはじめとした多くの開発事業による街づくりを契機に、より魅力ある都市の形成が求められています。 ・第32回港区民世論調査では、取組に対する「十分」の評価が約49.2%と「不十分」の評価32.5%を上回ると共に、重点的に取り組むべき政策の上位に「まちづくり」が位置付けられています。	
6 一次評価（所管部門による評価）			
政策の達成状況	施策の達成度	A:達成 4 B:概ね達成 0 C:達成が不十分 0	
	・区事業を着実に実施すると共に、民間事業者を適切に指導・誘導することで、区内におけるまちの基盤整備は着実に進んでいます。 ・道路や公園などの整備については、地元調整に時間を要したことや、契約不調により一部の整備スケジュールが遅れています。		
今後の政策の方向性 重点的・優先的に取り組む施策、課題等 ※国や東京都、他団体の動向、区民ニーズ等を踏まえる	・港区人口推計（令和2年3月）において、港区の将来人口は一貫して増加を続け、令和9年には30万人を突破すると見込まれています。 ・まちづくりにおいては、今後増加する区民の期待に対応するため、開発事業者を適切に指導・誘導すると共に、国や東京都との連携を強化し、官民一体となって取り組む必要があります。 ・道路や公園の整備においては、地域特性に応じた住環境に配慮しつつ、積極的に区民参画を促しながら子どもから大人、外国人、障害者を含めた多様な人々のニーズに対応する必要があります。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、公園や児童遊園を安心して利用するニーズが高まっているため、新たな利用方法等、国や東京都の動向を踏まえながら適切に対策する必要があります。		
7 二次評価（港区行政評価委員会による評価）			
政策の達成度	☑ A:達成 ☐ B:概ね達成 ☐ C:達成が不十分		
	・全ての施策について、大半の活動指標が目標に達しており、成果目標を達成しています。		
今後の政策の方向性 重点的に取り組む施策・課題	・政策の方向性は妥当であり、引き続き推進する必要があります。 ・自転車道を整備するだけでなく、サイクリストのマナー向上にも取り組むなど、ハード面の整備だけでなくソフト面での取組も推進していく必要があります。		

施策評価シート

施策① 安全で安心に移動できる道路の整備					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	土木課	関係課	各地区総合支所まちづくり課	評価	A：達成	
成果目標	誰もが安全で快適に利用できる道路が整備されている					
成果目標の達成状況及び評価	都市計画道路の整備は、補助7号線3区間の用地取得計16か所を目標にしましたが、地権者の同意が得られず2区間7か所の用地取得に留まりました。 歩道の整備、電線地中化の推進、歩車共存道路の整備、橋りょうの計画的な整備、自転車走行空間整備は目標を達成しました。					
今後の施策の方向性・課題	都市計画道路の整備は、計画的な用地取得が課題となっています。 歩道の整備、電線地中化の推進、橋りょうの計画的な整備、自転車走行空間整備の推進は、遅れが生じている箇所もありますが、地元や関係機関と調整を図りながら、適切な執行管理に努めます。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 都市計画道路の整備					土木課	
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測） 達成状況	
事業中路線における用地取得箇所	二之橋区間 3か所	桜田区間1か所 愛育リニカ区間1か所 二之橋区間14か所	二之橋区間1か所	桜田区間1か所 二之橋区間2か所	二之橋区間5か所 C：達成が不十分	
達成状況	3区間で16か所の用地取得を計画しましたが、地権者の同意が得られず、2区間7か所の用地取得に留まりました。					
今後の方向性・課題	用地交渉は個人の財産に直接影響を及ぼすことから、同意取得は容易には得られず、事業用地の計画的な取得が課題になっています。このため、用地交渉に関する高いスキルを有する公社等に委託するなど、区との両輪で事業を推進します。					
2 歩道の整備					土木課	
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測） 達成状況	
歩道の設置及び改良延長	整備延長： 82,508m 設計完了： 12路線	整備延長： 84,532m 設計完了： 27路線	整備延長： 82,878m 設計完了： 19路線	整備延長： 83,409m 設計完了： 24路線	整備延長： 84,258m 設計完了： 27路線 A：達成	
達成状況	設計は予定通りに実施しましたが、整備は契約不調によって実施できなかった箇所があります。					
今後の方向性・課題	自動車と歩行者の通行空間を分離し、歩行者の安全を確保するとともに、地域の特性を踏まえた道路としていくため、区民の参画を得ながら計画的に整備を進める必要があります。					

3 電線類地中化の推進							土木課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
区施工による電線類地中化の整備延長	6,860m	8,155m	7,135m (+275m/年)	7,715m (+580m/年)	7,715m (±0m/年)	A：達成	
達成状況	区内2か所（芝浦四丁目、赤坂四丁目）において整備を完了しました。						
今後の方向性・課題	用地買収（都市計画道路）の遅延に伴い、整備が遅延する課題がありますが、引き続き、都市防災機能の強化や安全で快適な歩行空間の創出に向け、電線共同溝整備に取り組みます。						
4 歩車共存道路の整備							土木課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
歩車共存道路の整備延長	整備延長： 3,722m 設計完了： 3路線	整備延長： 4,279m 設計完了： 5路線	整備延長： 4,140m 設計完了： 5路線	整備延長： 4,140m 設計完了： 6路線	整備延長： 4,278m 設計完了： 6路線	A：達成	
達成状況	当初予定していた設計、整備工事は全て実施しました。						
今後の方向性・課題	今後、整備予定の路線はありませんが、引き続き整備対象路線の検討を実施します。						
5 橋りょうの計画的な整備							土木課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
橋りょうの架替及び改良（耐震補強）工事の整備完了率	77.4%	87.1%	80.6% (3.2%増/年)	80.6% (0.0%増/年)	80.6% (0.0%増/年)	A：達成	
達成状況	当初予定していた橋りょうの整備は、80%完了しました。関係機関が複数ある橋りょうでは、施工協定の締結等に時間を要しており、予定より設計及び工事の遅延が生じています。						
今後の方向性・課題	引き続き、架替えや耐震補強工事を引き続き計画的に行い、安全で円滑な道路交通を確保します。						
6 自転車走行空間整備の推進							土木課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
港区自転車利用環境整備方針に基づく自転車ネットワークの整備延長	18.0km	28.0km	20.7km (+2.7km/年)	22.8km (+2.1km/年)	26.6km (+3.8km/年)	A：達成	
達成状況	港区自転車利用環境整備方針に位置付けられた自転車ネットワーク路線を順次整備することが出来ました。						
今後の方向性・課題	関係機関との協議に時間を要し着手できないケースや、道路工事と合わせて整備を行う路線については、その進捗に左右されるため、整備が遅れるケースが発生しています。今後は、整備が遅れないよう関係者と調整を密に取り組みます。						

施策評価シート

施策② 都心機能を支え人にやさしい公園の整備					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	土木課	関係課	各地区総合支所まちづくり課		評価	A：達成
成果目標	誰もが安全で快適に利用できる公園が整備されている					
成果目標の達成状況及び評価	都市計画公園の整備は、三田台公園の用地取得5件を目標にしましたが、地権者の同意が得られず3件の用地取得に留りました。公園は2園、児童遊園は3園の整備完了を目指し、計画的に事業を推進しました。プレーパークは、高輪地区と芝浦港南地区で実施しており、開催数を増やすことで、子どもたちが自由にのびのびと思い切り遊べる場所と機会を提供しました。					
今後の施策の方向性・課題	課題である都市計画公園の用地取得を強化すると共に、着実に公園や児童遊園の整備工事を実施します。また、子どもたちが自由にのびのびと思い切り遊べるプレーパークについて、区内の5地区の展開を目指していきます。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 都市計画公園の整備						土木課
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
事業中区域における用地取得面積	723㎡ （3件）	839.49㎡ （5件）	0㎡ （0件）	0㎡ （0件）	723㎡ （3件）	B：概ね達成
達成状況	当初は、事業区域の拡張を前提に用地取得は5件（拡張前3件、拡張後2件追加で5件）としましたが、地権者の同意が得られず事業区域の拡張が令和2年度以降に遅延したため、3件の用地取得に留まりました。					
今後の方向性・課題	用地交渉は個人の財産に直接影響を及ぼすことから、同意取得は容易には得られず、事業用地の計画的な取得が課題になっています。このため、用地交渉に関する高いスキルを有する公社等に委託するなど、区との両輪で事業を推進します。					
2 公園の整備						土木課
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
公園の整備数	1園	2園	0園 （0園/年）	0園 （0園/年）	2園 （2園/年）	A：達成
達成状況	平成30年度、令和元年度に設計を進め、令和2年度に1園の整備を実施します。計画通り、令和2年度までに2園の整備を実施します。					
今後の方向性・課題	公園は、新設及び全面改修からの経過年数に応じて再整備しており、児童遊園を含め、おおよそ年1園の整備を計画しています。引き続き、計画段階から区民参画の手法を取り入れ、地域特性や区民のライフスタイルに合わせて既存公園の再整備を進めます。					

3 児童遊園の整備							土木課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
児童遊園の整備数	2 園	3 園	0 園 (0 園/年)	0 園 (0 園/年)	3 園 (3 園/年)	A：達成	
達成状況	平成30年度に設計を進め、令和2年度に1園の整備を実施します。 計画通り、令和2年度までに3園の整備を実施します。						
今後の方向性・課題	児童遊園は、新設及び全面改修からの経過年数に応じて再整備しており、公園を含め、おおよそ年1園の整備を計画しています。引き続き、計画段階から区民参画の手法を取り入れ、安心して集い和める魅力ある児童遊園の再整備を進めます。児童遊園は面積が小さいため、多様な区民意見を整備に反映することが困難となっています。						
4 上下水道施設上部利用公園の整備							土木課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
下水道局との協議状況	拡充に向けて 協議	拡充に向けて 協議	拡充に向けて 協議	拡充に向けて 協議	拡充に向けて 協議	A：達成	
達成状況	上部利用公園の整備は、芝浦水再生センター上部の覆蓋化が必要であり、所管する東京都下水道局に対して要請を行いました。						
今後の方向性・課題	引き続き、下水道局に対し、早期の覆蓋化について要請していきます。						
5 プレーパークの推進							土木課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
プレーパークの利用者数	5,392人/年	5,932人/年	4,965人/年	4,932人/年	9,700人/年	A：達成	
達成状況	住民組織によって運営されている高輪地区と芝浦港南地区では、季節に合わせたイベントを開催し、利用者に喜ばれていると共に、安定した集客があります。						
今後の方向性・課題	今後も開催回数を増やし、子どもたちが自由にのびのびと思い切り遊べる場所と機会を増やしていきます。また、麻布地区・赤坂地区・芝地区においては、住民組織の立ち上げと育成を目指していきます。						

施策評価シート

施策③ 安全で快適に利用できる公共施設の整備						A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	土木課		関係課	各地区総合支所まちづくり課		評価	A:達成
成果目標	誰もが安全で快適に利用できるトイレ等の基盤整備が図られている						
成果目標の達成状況及び評価	誰もが安全で快適に利用できるトイレの整備に向け、老朽化したトイレを誰でもトイレに建替えると共に、ローマ字による表示方法の統一を図るため、道路標識の改修を行いました。						
今後の施策の方向性・課題	誰もが安全、安心して快適に利用できることを念頭に、公共施設の整備を進めます。利用者属性が幅広くなってきており、ニーズの把握が困難となってきたことが課題です。						
施策の推進のため取り組んでいる事業							
1 快適な公衆・公園トイレの整備							土木課
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況	
トイレの建替箇所数	2 か所	5 か所	0 か所 （± 0 か所/年）	2 か所 （+ 2 か所/年）	4 か所 （+ 2 か所/年）	B:概ね達成	
達成状況	建替え 5 か所を目標としましたが、契約不調により 4 か所の整備となりました。						
今後の方向性・課題	老朽化した公衆トイレの改修を進めており、改修にあたっては、誰もが利用しやすい「誰でもトイレ」を整備します。また、実施できなかった 1 か所は、令和 3 年度に整備する予定であり、工事の発注の際には、早期発注や十分な工期の確保など対策を講じ、不調とならないよう、ます。面積やトイレの構造上、誰でもトイレへの単独建替えが困難な箇所があることが課題となっています。						
2 案内標識の整備							土木課
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況	
道路標識の改修箇所数	60 か所	117 か所	57 か所	0 か所	117 か所	A：達成	
達成状況	当初予定していた道路標識の改修は予定通り実施しました。						
今後の方向性・課題	道路標識の改修は、予定していたもの全てのローマ字表記を完了しました。今後、新たに標識設置の必要性が生じた場合には、速やかに設置してまいります。						

3 地下空間の利用							土木課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
鉄道駅間や公共施設等へ接続する歩行者地下通路の整備箇所数	3 か所	5 か所	0 か所 (± 0 か所/年)	2 か所 (+ 2 か所/年)	5 か所 (+ 3 か所/年)	A : 達成	
達成状況	予定通り、5 か所全ての整備が完了しました。						
今後の方向性・課題	今後も歩行者の利便性を高めるため、開発事業にあわせて地下空間の利活用を検討していきます。						
4 小広場（ポケットパーク）の整備							土木課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
大規模開発等による小広場の整備箇所数	23か所	25か所	24か所 (+ 1 か所/年)	24か所 (± 0 か所/年)	26か所 (+ 2 か所/年)	A : 達成	
達成状況	適切な配置・形状の小広場（ポケットパーク）設置に向け、開発事業者と協議を実施し、小広場を整備しました。						
今後の方向性・課題	引き続き、大規模開発時の際には開発事業者を適切に指導し、緑地など小広場を確保していきます。						

施策評価シート

施策④ 市街地再開発事業等諸制度の活用と支援					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	再開発担当	関係課	品川駅周辺街づくり担当、開発指導課		評価	A：達成
成果目標	市街地再開発事業や土地区画整理事業により、住環境や防災機能が向上したまちづくりが推進されている					
成果目標の達成状況及び評価	「市街地再開発事業への支援」は、関係機関との協議調整や、権利者間の合意形成により一部の地区で事業化に至らず活動指標の達成状況をB（概ね達成）としましたが、施策としての成果目標は達成できました。					
今後の施策の方向性・課題	本施策に計上している事業は、整備規模が大きく、関係機関・地権者等が多岐かつ膨大です。協議調整や合意形成を円滑に進めながら、早期に事業効果が発現されるよう指導・支援し、まちづくりを推進していきます。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 市街地再開発事業への支援						再開発担当
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
市街地再開発事業による地区数	完了4地区 継続2地区	完了7地区 継続8地区	完了5地区 継続3地区	完了6地区 継続5地区	完了7地区 継続4地区	B：概ね達成
達成状況	目標としていた7地区が完了しました。権利者の合意形成や、関係機関との協議調整により事業化に至らなかった地区があったため、継続地区数が目標に対して4地区減となっています。					
今後の方向性・課題	関係機関との協議調整や、権利者間での合意形成が十分に図られた上で、円滑に事業が進捗・完了するよう支援を継続します。					
2 品川駅再編に伴う連続立体交差化計画の推進						品川駅周辺街づくり担当
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
品川駅改良の着実な進捗	都市計画案の調整	事業認可	都市計画決定	事業認可準備 （測量・設計等）	事業認可	A：達成
達成状況	事業主体となる東京都が連続立体交差事業について準備を行い、令和2年4月1日に事業の認可を取得しました。（平成30年12月21日に都市計画変更）					
今後の方向性・課題	連立事業の関係者となる品川区や鉄道事業者と連携を図りながら事業を推進します。また、連立事業と併せて品川駅で実施される「鉄道駅総合改善事業」や駅周辺で実施されている事業とも調整を図りながら、工期の短縮や事業費の縮減が図られるよう協議を行います。					

3 土地区画整理事業の活用						開発指導課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
土地区画整理事業による整備面積と地区数	26.3ha 6 地区	27.0ha 7 地区	26.3ha 6 地区	26.3ha 6 地区	27.0ha 7 地区	A:達成
達成状況	愛宕山周辺地区（I地区）土地区画整理事業が今年度完了を予定しています。					
今後の方向性・課題	今後も事業者に対し、円滑に事業が進捗・完了するよう支援を継続していきます。					
4 市街地再開発事業等の評価						再開発担当
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
港区市街地再開発事業事後評価制度に基づく評価実施地区数	1地区	4 地区	2 地区 (+1 か所/年)	3 地区 (+1 か所/年)	4 地区 (+1 か所/年)	A:達成
達成状況	各年度1地区を対象に確実に事後評価を実施しており、事後評価委員会開催により評価結果を取りまとめ、評価結果を踏まえた区の対応も合わせて公表しています。このような取組みを継続することにより、事後評価制度の目的が達成されることから、事業の効果性も高いと評価できます。					
今後の方向性・課題	今年度の予定地区を除き、事業完了地区と事業中地区のうち事後評価対象案件が11件あります。また、都市計画決定済地区3件、事業化検討地区8件があり、それ以外にも相談地区が存在します。そのため、継続して事後評価を実施し、事後評価で得られた知見のフィードバックとともに、事業者の自主的な取組みを促す必要は増々高まっています。					